

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾ゆうゆう新市		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	65	(回答者数) 41
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児の特性や人数に応じて、公園や体育館など外部環境も活用しながら活動機会を確保しており、限られた室内環境の中でも子どもが十分に体を動かし経験を上げられるよう工夫されています。安全面に配慮した支援体制も整っています。	業務ローテーションや振り返りを通じてPDCAを回し、業務改善を継続しています。職員全員が改善に関与できる体制があります。	環境整備や配置の工夫により、集中しやすく安全な空間づくりを進めています。
2	利用児の特性や人数に応じて、公園や体育館など外部環境も活用しながら活動機会を確保しており、限られた室内環境の中でも子どもが十分に体を動かし経験を上げられるよう工夫されています。安全面に配慮した支援体制も整っています。	活動が固定化しないよう行事企画会議を実施し、利用児の意見も取り入れながら活動を決定しています。自己選択・自己決定支援を大切にしています。	地域交流や関係機関連携を増やし、支援の幅を広げていきます。
3	保護者から「安心して任せられる」「専門性のある支援」「子どもが楽しみにしている」といった高評価が多く、満足度が非常に高い事業所です。個別対応や声掛けへの評価も高いです。	連絡帳やコドモンを活用し、保護者との情報共有を丁寧に行っています。家族支援や相談対応も積極的です。	保護者交流機会を増やし、家庭支援の充実を図ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリー環境や施設構造に課題があり、段差や死角への配慮が必要です。	施設構造上の制約により環境調整が難しい場合があります。	環境整備やレイアウト改善を進め、安全性と集中しやすさを高めます。
2	職員配置数について、十分でないと感じる職員が一定数います。	利用児数や特性により、支援負担が偏る場合があります。	人員体制の調整やスキルアップ体制を整え、支援の質を安定させます。
3	地域交流や外部機関連携の機会がまだ少ない状況です。	地域連携には調整や機会づくりが必要です。	地域交流や外部機関連携を段階的に拡充していきます。